

第 141 回日本脳神経外科学会九州支部会 プログラム

令和 4 年 6 月 25 日 (土)

現地参加：おきなわクリニカルシミュレーションセンター (3 階)
(沖縄県西原町上原 207 琉球大学医学部内)

Web 参加：Zoom ウェビナー

- 8:00～ 会場受付・Zoom 配信開始
- 8:30～ 開会
- 11:30～12:30 理事会 (1 階 107 号室)
- 12:30～13:30 ランチョンセミナー (領域講習 1 単位)
- 16:30～17:30 FD 講習会 (領域講習 1 単位)

〈連絡事項〉

・本学会は新型コロナウイルス感染症に対する感染予防を行いながら現地と Web のハイブリット開催とさせていただきます。

・Web での参会およびランチョンセミナー・FD コース受講には、事前の参加登録が必要ですので、必ず 2022 年 6 月 15 日(水)までに下記メールアドレス宛にご連絡をお願いいたします。指定口座情報をご返信いたしますので、参会費 ¥1,000- をお振込みいただきますようお願いいたします。お振込みを確認次第、Zoom アカウントをご登録いただいたメールアドレス宛へお送りいたします。

Web 参加登録連絡先：h149440@med.u-ryukyu.ac.jp

事前登録および参会費振込期日：2022 年 6 月 15 日(水)

・脳神経外科専門医の方は、IC 会員カードでの専門医クレジット登録になります。IC 会員カードをご持参ください。IC 会員カードをお持ちでない方は、専門医番号での登録が可能です。

・本支部会のランチョンセミナーおよび FD 講習会は新専門医制度の脳神経外科領域講習 (1 単位) として認定されております。詳細はプログラムをご参照下さい。なお本支部会では医療安全講習会は開催致しません。

・理事会は 11:30 より 1 階 107 号室で開催します。理事の先生方はご参集下さい。

【現地参加される先生方へ注意事項】： 2～3 ページ

【Web 参加される先生方へ注意事項】： 3～4 ページ

【現地参加される先生方へ】

事前登録は必要ありません。当日 8:00 より会場にて受付いたします。会場はおきなわクリニカルシュミレーションセンター（琉球大学医学部内）です。交通手段につきまして 5～6 ページをご確認ください。

本会の参加登録、ランチョンセミナー入退室登録、FD 講習会入退室登録はすべて日本脳神経外科学会会員 IC カードにて行いますので、IC カードを忘れずにお持ちください。

<現地にて発表される先生方へ>

1. 持ち時間は講演時間：6 分（予鈴 5 分）、質疑応答：2 分、合計 8 分間です。
2. 発表者は遅くとも 30 分前には受付を行って下さい。発表の 10 分前には次演者席にご着席下さい。発表時は舞台上にモニター、マウスを設置致しますのでご自身で操作をお願いいたします。
3. 会場に演者用 PC をご用意しております。PC の接続不良等を避けるため、発表者の皆様には可能な限り USB 等でのデータでのお持ち込みをお願いいたします。尚、データお持ち込みの場合、動画・音声を用いる場合は Power Point 文書ともに動画・音声データを忘れずにお持ちください。
4. OS は Windows, Power Point 2010～2019 に対応しております。尚、Mac OS には対応しておりませんので、上記環境にてご発表いただくかご自身の PC 持ち込みでお願いいたします。持ち込み PC の場合、会場プロジェクターとの接続は HDMI となります。HDMI 変換コネクタを忘れずにご持参ください。
5. 発表者ツールは使用できませんのでご注意ください。
6. 発表資格：発表者は九州支部会会員で年会費を納めている必要があります。但し、初期研修医及び他の支部会に所属し年会費を納めている者は、学術集会参加費のみでの発表が許容されます。入会に関しては九州支部ホームページ (<http://square.umin.ac.jp/jnskyu/index.htm>) をご参照下さい。
7. 日本脳神経外科学会が行う学術集会・支部学術集会における発表者は、利益相反 conflict of interest (COI) 状態を開示する義務があります。COI 自己登録および発表スライドに旨を記載する事が必要ですのでご注意下さい。（詳細は日本脳神経外科学会ホームページをご参照下さい。）

<現地にて座長をお務めいただく先生方へ>

1. 会場の PC から Zoom にて進行していただきます。音声は会場マイクを通します。Zoom 画面の操作は事務局にて行います。
2. 各セッションの進行は座長の先生に一任いたします。演者の持ち時間は講演時間：6 分（予鈴 5 分）、質疑応答：2 分、合計 8 分間です。終了時間の厳守をお願いいたします。
3. Zoom 参加者からの質問につきまして、本学会は Zoom ウェビナーにて行うため、Zoom 参加者は発言ができません。そのため Zoom 参加者の質問はチャットで寄せられますの

で、演者の発表終了後にチャットの中から質問をいくつか選んでいただき、演者へ質問していただきますようお願いいたします。

<脳神経外科領域講習について>

本支部会のランチセミナーおよびFD講習会は新専門医制度の領域講習（1単位）として認定されております。参加予定者はご来場し「参会受付」を済ませた後に、同じフロアの「入退場受付」にもお立ち寄り頂き「IC 会員カード」をカードリーダーにかざして「入場受付」を行ってください。またランチセミナー終了後、お帰りになられる際（退場時）に必ず入退場受付お立ち寄り頂きに必ず入退場受付お立ち寄り頂き「退場受付」を行ってください。

単位算定は IC カード読み取りにより機械的に行われ指定業者により自動集計されます。データは学会事務局で保管致しませんので申し訳ございませんが、入退場の受付を失念された場合、期間中の受付デスクまたは後日学会事務局で個別に対応することが一切できません。特に退場時の受付をお忘れにならないよう、ご注意下さい。

非専門医の先生方は上記受付をして頂く必要ございません（認定単位はありません）。

【Web 参加される先生方へ注意事項】

～登録について～

Web での参会およびランチセミナー・FD コース受講には、事前の参加登録が必要ですので、必ず 2022 年 6 月 15 日(水)までに下記メールアドレス宛にご連絡をお願いいたします。指定口座情報をご返信いたしますので、参会費 ¥1,000- をお振込みいただきますようお願いいたします。お振込みを確認次第、Zoom アカウントをご登録いただいたメールアドレス宛へお送りいたします。

Web 参加登録連絡先 : h149440@med.u-ryukyu.ac.jp

事前登録および参会費振込期日 : 2022 年 6 月 15 日(水)

～視聴について～

Zoom ウェビナーに入室する際はどなたもカメラオフ・音声オフとなっております。座長の先生や演者の先生がオンにする際は事務局からお願いをしますので、それまではオフのままをお願いいたします。更に、参加のみの先生方はカメラオン・音声オンができません質問がある場合は座長へチャットにてご入力いただきますようお願いいたします。

当日映像や音声の不具合等がありましたら、メールにて差し上げている携帯電話番号へおかけいただきますようお願いいたします。

<Web にて発表される先生方へ>

1. 発表資料・音声の事前確認を行いますので、メールで差し上げた事前確認用のリンクから所定の時間に入室をお願いいたします。事前確認終了後、各セッション開始 5 分前までには本番の Zoom リンクから入室していただきますようお願いいたします。
2. 本番用リンクに入室した後もカメラ・音声はオフのままをお願いいたします。「ホストがあなたにビデオの開始を依頼しています。」「ホストがあなたにミュートを解除するこ

とを求めています。」と画面上に出ましたらカメラ・音声をオンにさせていただきますようお願いいたします。

3. 質問につきまして、Zoom 参加者からの質問は座長へチャットを通して送信されます。座長が質問を選び演者の先生へ質問しますので、ご対応いただきますようお願いいたします。

<Webにて座長をお務めいただく先生方へ>

1. 映像・音声の事前確認を行いますので、メールで差し上げた事前確認用のリンクから所定の時間に入室をお願いいたします。事前確認終了後、各セッション開始 5 分前までには本番の Zoom リンクから入室していただきますようお願いいたします。
2. 本番用リンクに入室した後もカメラ・音声はオフのままをお願いいたします。「ホストがあなたにビデオの開始を依頼しています。「ホストがあなたにミュートを解除することを求めています。」と画面上に出ましたらカメラ・音声をオンにさせていただきますようお願いいたします。
3. 質問につきまして、Zoom 参加者からの質問は座長の先生へチャットを通して送信されます。質問をいくつかお選びいただき、演者の先生へご質問いただきますようお願いいたします。

<脳神経外科領域講習について>

本支部会のランチョセミナーおよび FD 講習会は新専門医制度の領域講習（1 単位）として認定されております。

1. 入退室の記録のため、ランチョンセミナーおよび FD 講習会は九州支部会本会とは別の Zoom ウェビナーを設けております。事前参加登録にて、ランチョンセミナー・FD 講習会に参加希望とご連絡された方に、メールにてそれぞれの Zoom ウェビナーのリンクを記載しておりますので、そのリンクから入室してくださいようお願いいたします。
2. 入室時間および退室時間の記録により単位認定されます。つきましては、ランチョンセミナーでは開始 12:30 以前の入室、終了 13:30 以降の退室、FD 講習会では開始 16:30 以前の入室、終了 17:30 以降の退室をお願いいたします。
3. 当日映像や音声の不具合等がありましたら、メールにて差し上げている携帯電話番号へおかけいただきますようお願いいたします。

[交通のご案内]

※ご注意

那覇市内の交通事情は慢性的な渋滞で見込めませんので、会場（おきなわクリニカルシュミレーションセンター）までの交通手段は下記をご参考下さい。

① レンタカーを利用する（約 30-40 分）。

駐車場はおきなわクリニカルシュミレーションセンター周囲の駐車場をご利用下さい。

② 那覇空港からタクシーを利用する（約 30-40 分、4000 円）。

③ 那覇空港からモノレールに乗り首里駅（終点）からタクシーを利用する（約 45 分、1730 円）。

④ 那覇空港からモノレールに乗り首里駅（終点）からバス（94 番線）を利用する（約 50 分、670 円）。

※バスのご利用はバスナビ沖縄（<https://www.busnavi-okinawa.com/top>）にてバス運行状況が確認できます。



◇ 会場案内 ◇

※ 会場は「おきなわクリニカルシュミレーションセンター」です。
 ※ 琉球大学医学部正門を入りすぐ右手の建物が会場です。



第 141 回 日本脳神経外科学会九州支部会プログラム 2022 年 6 月 25 日 (土)

現地及び Zoom ウェビナーによるハイブリット開催

開会の辞 8:30 琉球大学大学院脳神経外科学 教授 石内勝吾

●セッション 1 脳血管障害 I 8:35~9:15

座長 田中 俊一 (鹿児島大学)

S1-1 破裂脳動脈瘤のコイル逸脱に対し手術を行った 1 例

1 福岡大学医学部脳神経外科

○鈴木 皓一郎¹、河野 大¹、入江 由希乃¹、堀尾 欣伸¹、福本 博順¹、榎本 年孝¹、天本 宇昭¹、小林 広昌¹、森下 登史¹、野中 将¹、安部 洋¹

S1-2 治療方針に苦慮した内頸動脈前壁破裂動脈瘤の一例

1 新古賀病院脳卒中脳神経センター脳神経外科

○香野 草太¹、亀田 勝治¹、安部 啓介¹、石堂 克哉¹、一ツ松 勤¹

S1-3 FRED 留置困難例を血管造影検査から予測する

1 医療法人光川会 福岡脳神経外科病院

○森田 寛也¹、風川 清¹、丸山 康誠¹、鎌谷 魁星¹、濱 義明¹、吉田 真一郎¹、太田 雄一郎¹、田代 典章¹、平岡 史大¹、川野 弘人¹、矢野 茂敏¹、相川 博¹、呉 義憲¹

S1-4 アスペルギルスの関与が疑われる鼻出血発症仮性内頸動脈瘤の 1 例

1 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野

○河野 智樹¹、大田 元¹、小笠原 奈月¹、田村 充¹、牟田 淳一郎¹、齋藤 清貴¹、山下 真治¹、渡邊 孝¹、横上 聖貴¹、竹島 秀雄¹

S1-5 経時的MRI撮影で内頸動脈血栓化破裂動脈瘤破裂との鑑別が出来た下垂体卒中の一例

1 長崎大学医学部脳神経外科

○松尾 彩香¹、日宇 健¹、馬場 史郎¹、氏福 健太¹、吉田 光一¹、松尾 孝之¹

●セッション2 脳血管障害Ⅱ 9:18~9:58

座長 増岡 淳 (佐賀大学)

S2-1 前大脳動脈領域の虚血に対して STA-ACA bypass が奏功した一例

1 長崎労災病院脳神経外科

2 長崎大学医学部脳神経外科

○竹内 雅臣¹、近松 元気²、広瀬 誠¹、前田 肇¹、北川 直毅¹

S2-2 CT 灌流画像が血管内治療戦略に有用であった M2 閉塞の1例

1 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科

○斧淵 奈旺¹、永野 祐志¹、東 拓一郎¹、田中 俊一¹、花谷 亮典¹

S2-3 過灌流症候群高リスク群の内頸動脈狭窄症に対して頸動脈ステント留置術を施行した一例

1 産業医科大学脳神経外科

2 産業医科大学脳卒中血管内科

○武田 晋太郎¹、吉村 良²、黒川 暢²、山本 淳孝¹、田中 優子²

S2-4 もやもや病に合併した脳底動脈先端部穿通枝破裂動脈瘤の一例

1 長崎大学医学部脳神経外科

○岡村 宗晃¹、出雲 剛¹、松尾 彩香¹、小川 由夏¹、吉村 正太¹、高平 良太郎¹、諸藤 陽一¹、松尾 孝之¹

S2-5 脳室周囲吻合と責任血管の可視化に Vaso CT が有用であったと考えられる出血発症もやもや病の一例

1 小倉記念病院脳卒中センター脳神経外科

○宮田 武¹、波多野 武人¹、小倉 健紀¹、阿河 祐二¹、梅村 武部¹、阪本 宏樹¹、中島 弘淳¹、塩見 晃司¹、長堀 貴¹、永田 泉¹

●セッション3 脳血管障害Ⅲ 10:01~10:41

座長 日宇 健 (長崎大学)

S3-1 急性リンパ球性白血病加療中に発症し脳ヘルニアを来した静脈洞血栓症の1例

1 久留米大学 臨床研修センター

2 久留米大学脳神経外科

○古賀 真彦¹、橋本 彩²、高島 知央²、大津 裕介²、野中 崇久²、古賀 誉久²、梶原 壮翔²、音琴 哲也²、折戸 公彦²、廣畑 優²、森岡 基浩²

S3-2 バセドウ病に併発した脳静脈洞血栓症に対して機械的血栓回収術を行った1例

1 九州労災病院脳神経外科

2 九州労災病院脳血管内科

○田代 洸太¹、田中 俊也¹、森田 隆雄²、熊本 将也²、鶴崎 雄一郎²、有廣 昇司²、芳賀 整¹

S3-3 コロナワクチン接種後、血管炎による脳出血を発症した1例

1 社会医療法人財団白十字会白十字病院脳神経外科

2 社会医療法人財団白十字会白十字病院病理診断科

3 福岡大学医学部脳神経外科

○竹山 龍平¹、福田 健治¹、神崎 由起¹、藤原 史明¹、林 修司¹、井上 亨¹、大谷 博²、安部 洋³

S3-4 Borden typeⅢの硬膜動静脈瘻治療後に新規同側海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻を認めた1症例について

1 長崎労災病院脳神経外科

2 長崎労災病院

○前田 肇¹、竹内 雅臣²、廣瀬 誠²、北川 直毅²

S3-5 頸部内頸動脈解離を合併した破裂中大脳動脈瘤の一例

1 佐賀県医療センター好生館 脳神経外科

2 下関市立市民病院 脳神経外科

○前山 元¹、井戸 啓介¹、藤井 祐太郎²、横溝 明史¹、松本 健一¹

●セッション4 脊椎・脊髄 10:44~11:24

座長 森下 登史（福岡大学）

S4-1 トラクトグラフィーと術前画像シミュレーションを利用して、延髄オリーブと上位頸髄C1の2カ所の病変を一期的に摘出した家族性多発海綿状血管奇形の一例

1 琉球大学医学部脳神経外科

2 中部徳洲会病院脳神経外科

3 沖縄赤十字病院脳神経外科

4 沖縄第一病院脳神経外科

○外間 洋平¹、新崎 盛敏¹、小山 玲奈¹、友利 壮志²、國仲 倫史¹、小林 繁貴¹、金城 雄生³、長嶺 英樹¹、宮城 智央⁴、菅原 健一¹、石内 勝吾¹

S4-2 くも膜下出血で発症した脊髄硬膜内髄外海綿状血管腫の一例

1 九州大学大学院医学研究院脳神経外科

2 新古賀病院脳卒中脳神経センター脳神経外科

3 佐賀県医療センター好生館脳神経外科

○外園 まりや¹、有村 公一¹、西村 中¹、岩城 克馬¹、香野 草太²、原田 亜由美³、中溝 玲¹、吉本 幸司¹

S4-3 脊髄空洞症を伴った dorsal thoracic arachnoid web の一例

1 九州大学大学院医学研究院脳神経外科

2 新古賀病院脳卒中脳神経センター脳神経外科

○柳田 暢志¹、三月田 祐平¹、溝口 昌弘¹、秦 暢宏¹、空閑 太亮¹、有村 公一¹、香野 草太²、中溝 玲¹、吉本 幸司¹

S4-4 C7-Th1 脊髄前後面に shunt point を有した perimedullary AVF に対して一期的に feeder 遮断術

1 久留米大学医学部脳神経外科

○橋本 洋佑¹、野中 崇久¹、杉 圭祐¹、藤森 香奈¹、梶原 壮翔¹、折戸 公彦¹、服部 剛典¹、廣畑 優¹、森岡 基浩¹

S4-5 脊柱管内 microspur が原因となった脳脊髄減少症の1例

1 福岡大学筑紫病院脳神経外科

2 福岡大学筑紫病院脳神経内科・脳卒中センター

○井上 律郎¹、松田 浩大¹、花田 迅貫¹、坂本 王哉¹、平田 陽子¹、新居 浩平¹、白川 佐智子²、竹下 翔²、津川 潤²、東 登志夫¹

●セッション5 外傷・感染・機能外科 11:27~12:07

座長 齋藤 健 (産業医科大学)

S5-1 交通事故により総頸動脈解離を呈した1例

1 地方独立行政法人大牟田市立病院脳神経外科

2 久留米大学医学部脳神経外科

○丹羽 悠¹、原田 久嗣²、江藤 朋子¹、山下 伸¹、倉本 晃一¹、森岡 基浩²

S5-2 竹の穿通性頭部外傷による髄膜炎から可逆性脳血管攣縮と広範囲脳梗塞を生じた一例

1 大分大学医学部脳神経外科

○高尾 薫平¹、松田 浩幸¹、村田 久美¹、杉田 憲司¹、藤木 稔¹

S5-3 斜台骨折により脳幹及び小脳梗塞を発症した1例

1 久留米大学医学部脳神経外科

2 久留米大学病院高度救命救急センター

○星野 誠¹、橋本 彩¹、山川 曜¹、原田 久嗣¹、野中 崇久²、古賀 誉久²、森岡 基浩¹

S5-4 感染性心内膜炎による脳塞栓症と鑑別に苦渋し遺伝子診断が診断確定に有用であった脳膿瘍の一例

1 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター脳神経外科

○長嶋 孝昭¹、合田 敏章¹、下里 倫¹、輪島 大介¹、竹下 朝規¹、長嶺 知明¹

S5-5 蛇行した脳底動脈本幹による三叉神経痛の一例

1 佐賀大学医学部脳神経外科

2 佐賀大学医学部卒後臨床研修センター

○由比 元顕²、井上 浩平¹、並川 裕貴¹、古川 隆¹、伊藤 寛¹、吉岡 史隆¹、緒方 敦之¹、
中原 由紀子¹、増岡 淳¹、阿部 竜也¹

■ランチオンセミナー 12:30~13:30

「AMPA型グルタミン酸受容体拮抗薬の開発」

エーザイ株式会社 メディシン開発センター 戦略企画推進部 シニアディレクター

花田 敬久 先生

(日本脳神経外科学会領域講習1単位認定)

座長 石内 勝吾 (琉球大学大学院脳神経外科学 教授)

共催: 第141回日本脳神経外科学会九州支部会/エーザイ株式会社

●セッション6 脳腫瘍Ⅰ 13:40~14:20

座長 秦 暢宏 (九州大学)

S6-1 定位的頭蓋内脳波モニタリングにより同定された焦点部位に高周波熱凝固術を施行した内側側頭葉てんかんの一例

1 福岡大学医学部脳神経外科

○日下部 太郎¹、田中 秀明¹、森下 登史¹、天本 宇昭¹、野中 将¹、安部 洋¹

S6-2 膠芽腫に静脈洞血栓症を合併した一例

1 中部徳洲会病院脳神経外科

2 琉球大学医学部脳神経外科

○友利 壮志¹、國仲 倫史²、小林 繁貴²、長嶺 英樹²、外間 洋平²、菅原 健一²、石内 勝吾²

S6-3 がん遺伝子パネル検査にて遺伝子診断に至った Epithelioid Glioblastoma の2例

1 久留米大学医学部脳神経外科

2 地方独立行政法人大牟田市立病院脳神経外科

○中原 陽一郎¹、音琴 哲也¹、原田 久嗣²、杉 圭祐¹、吉武 秀展¹、小牧 哲¹、下川 尚子¹、中村 英夫¹、森岡 基浩¹

S6-4 Pleomorphic xanthoastrocytoma および ganglioglioma が併存した long-term epilepsy-associated tumors (LEATs) の1例

1 熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座

2 熊本大学病院脳神経内科

3 熊本大学病院病理診断科

○河野 達哉¹、浜崎 禎¹、松原 崇一郎²、三上 芳喜³、武笠 晃丈¹

S6-5 脱髄疾患との鑑別が困難であった片側前頭葉 germinoma の一例

1 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科

○井上 恵理¹、増田 圭亮¹、比嘉 那優大¹、米澤 大¹、内田 裕之¹、花谷 亮典¹

●セッション7 脳腫瘍Ⅱ 14:23~14:55

座長 浜崎 禎 (熊本大学)

S7-1 術前塞栓術が有用であった成人小脳血管芽腫

1 産業医科大学脳神経外科

2 産業医科大学脳卒中血管内科

3 産業医科大学放射線科

○野村 得成¹、岡野 琳太郎¹、鳥居 里奈¹、長坂 昌平¹、高松 聖史郎¹、鈴木 恒平¹、齋藤 健¹、中野 良昭¹、山本 淳考¹、黒川 暢²、田中 優子²、村上 優³

S7-2 妊娠 30 週に閉塞性水頭症を来した小脳血管芽腫の一例

1 福岡大学病院救命救急センター

2 福岡大学医学部脳神経外科

3 福岡大学医学部産婦人科

○小田 一徳¹、天本 宇昭²、井鏈 大介³、榎本 年孝²、古賀 隆之¹、入江 由希乃²、小林 広昌²、森下 登史²、岩朝 光利¹、宮本 新吾³、安部 洋²

S7-3 眼窩内孤発性線維性腫瘍の一例

1 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野

2 宮崎県立日南病院脳神経外科

○有川 壮磨¹、小笠原 奈月²、河野 智樹¹、牟田 淳一郎¹、山下 真治¹、水口 麻子¹、渡邊 孝¹、大田 元¹、横上 聖貴¹、竹島 秀雄¹

S7-4 扁平上皮癌へと悪性転化した脳室内腫瘍の一例

1 (株)麻生飯塚病院脳神経外科

○要名本 あゆみ¹、甲斐 康稔¹、井上 大輔¹、迎 伸孝¹、高原 健太¹、山田 哲久¹、名取 良弘¹

●セッション 8 脳腫瘍Ⅲ 14 : 58 ~ 15 : 30

座長 音琴 哲也 (久留米大学)

S8-1 前額部皮下腫瘍で発症し、好酸球性肉芽腫との鑑別が困難だった ATLL の一例

1 琉球大学医学部脳神経外科

2 医療法人徳洲会中部徳洲会病院

○小林 繁貴¹、友利 壮志²、國仲 倫史¹、長嶺 英樹¹、外間 洋平¹、菅原 健一¹、石内 勝吾¹

S8-2 下垂体腺腫術後再発に対してγナイフ照射後に急速な経過で下垂体肉腫として再発を来した一例

1 原三信病院脳神経外科

2 新古賀病院脳卒中脳神経センター

3 九州大学大学院医学研究院脳神経外科学

○安部 啓介¹、亀田 勝治²、石堂 克哉²、一ツ松 勤²、吉本 幸司³

S8-3 腫瘍出血を伴った第三脳室内頭蓋咽頭腫の一例

1 福岡市民病院脳神経外科

2 福岡大学医学部脳神経外科

○廣田 篤¹、福島 浩¹、吉野 慎一郎¹、平川 勝之¹、安部 洋²

S8-4 小脳橋角部およびメッケル腔に発生したmeningeal melanocytomaの一例

1 天草地域医療センター脳神経外科

2 熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座

○森 遼介¹、竹崎 達也²、浜崎 禎²、黒田 順一郎²、武笠 晃丈²

閉会の辞 15:30 琉球大学大学院脳神経外科学 教授 石内勝吾

■FD 講習会 16:30~17:30